

## みずき中生徒と交流しました



日本の給食を体験。ハンガリーの選手たちはおいしいと口をそろえていました。



授業にも参加。道徳や英語の授業などを見学しました。



みずき中生徒からレクチャーを受けながら折り紙体験。千羽鶴などを折りました。



ハンガリーの選手たちは生徒から大人気。一緒に遊んだり写真を撮ったり、楽しく交流をしました。

### 始まっています 各国との交流

現在本市では、大会参加国の事前キャンプ地の誘致などに取り組んでいます。実際に各国の選手が本市に来て、強化合宿や市民との交流などを行っています。

平成29年にはハンガリーの柔道とレスリング競技について、本市をキャンプ地とする合意書を締結しました。これをきっかけに、昨年8月にハンガリーの柔道連盟とレスリング連盟選手が本市で合宿を実施。今年の1月から2月にかけても、柔道の選手が強化合宿で本市を訪れました。その際の交流事業の一つとして、みずき中を訪ね、給食体験や授業見学を行った後、柔道部の生徒たちと合同練習をしました。慣れない練習に戸惑いながらも、真剣な眼差しで取り組んでいました。「ハンガリーの選手は強かった。体幹の強さを感じました。一緒に練習できてよかったです」とみずき中柔道部長の菊池晏至さん。ハンガリーの選手たちも、日本の練習環境を確かめる機会になりました。

### もっと多くの国と交流を

昨年本市で開催され、19カ国約200人の選手と役員が参加した「2018 FIG トランポリンワールドカップ日本国前橋大会」では、トランポリン競技の合宿に本市が最適な場所であることを各国にアピール。その後、この大会に参加したベラルーシと、事前キャンプ地に関する協定を昨年12月に結びました。

コロナとは、昨年11月に本市をパラリンピックの事前キャンプ地とする合意書を締結。10月に選手の合宿を受け入れるための準備を進めています。そしてスリランカについては、前橋まつりで本市の取り組みやスリランカを紹介するパネル展示ブースを設置し、伝統の紅茶セイロントーティーなどを配布。来場者に同国の文化を広げました。

また、リオオリンピックに初出場した南スーダンについては、練習環境の整った本市でトレーニングができるよう、事前キャンプの受け入れを検討しています。



これらの取り組みを通じて、多くの国や競技の選手に前橋で合宿を行ってもらうとともに、友好関係やスポーツ振興につながることを目指します。さらに、選手と市民が交流できる場を設置。互いにとって忘れられない時間を過ごせるような場も作っていきます。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催で、選手だけでなく、世界中からたくさんのお客が訪れます。言葉は通じなくても、スポーツで心は通じます。スポーツの熱い感動を、世界各国の人々と共に分かち合う。この体験が、未来につながる友好関係を築いていきます。

# 迫る、世界のスポーツの祭典 大会がつなぐ世界との交流



ハンガリー柔道連盟女子強化選手とみずき中柔道部の皆さん

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が、いよいよ来年に迫りました。外国人観光客のさらなる増加が見込まれる中、日本各地でホストタウンの取り組みが進んでいます。政府が進めるホストタウン構想。自治体と大会参加国・地域の選手などが、スポーツ、経済、文化を通じて交流し、共生社会の実現やグローバル化の推進などを目指すものです。全国で250以上の自治体が、ホストタウンに登録されています。

本市もこのホストタウン構想に賛同し、現在はハンガリーとスリランカ、コロンビアのホストタウンとして登録認定を受けています。また、ベラルーシと南スーダンの登録も準備を進めています。大会前の今、大会中、そして大会後も続く交流関係を築いていきます。

図 スポーツ課  
☎ 027・898・6005